

釜石港の有効活用を求める陳情

(要 旨)

海上自衛隊が保有する掃海艇等の小型艦艇の寄港地としての活用ができるように岩手県と釜石市が歩調を合わせ、実現に向けた取組みを促す決議を求める陳情。

(理 由)

釜石湾は津波による被害を軽減させることを目的として、湾港防波堤が建設された。その役割は東日本大震災において効果を実証されている。また、台風等の荒天時には多くの船舶が緊急避難港として入港するなど、国際港としての位置付けと併せて、船舶の安全面で多大な貢献を果たしており、利用価値の高い港湾として評価されている。

岩手県は、広域防災拠点の配置計画の確立を目指し、内陸部の災害発生に備え、沿岸部にも釜石市を含む5エリアを後方支援拠点に加えるとしている。

このような状況下において、海上自衛隊が保有する掃海艇等の小型艦艇は、悪天候時に緊急避難を余儀なくされるが、自衛艦であるという性質上、寄港地として指定されている港への入港が望ましいとされている。特に、太平洋沿岸地域においては、青森県大湊港から神奈川県横須賀港までに指定されている港がなく、その必要性が強調されている。とりわけ、釜石港は湾港防波堤が完成したことにより、湾内の静穏度が著しく向上しており、市内外から高い評価を受けている。

釜石市が寄港地として指定されれば、積載する水や燃料、食料などの物資の補給や、隊員の保養を目的とする体育施設の活用や宿泊需要が見込まれるほか、市内飲食店等での消費行動にも期待できる状況が生まれる。また、岩手県広域防災拠点における後方支援拠点としての指定と併せて、寄港地指定がされれば海上自衛隊の輸送艦を中心とした艦艇の入港が見込まれ、災害対応にも資することになる。

よって、海上自衛隊が保有する掃海艇等の小型艦艇の寄港地としての活用ができるように岩手県と釜石市が歩調を合わせ、実現に向けた取組みを促す決議を求める陳情をする。

令和6年6月6日

釜石市議会議員 千葉 榮 様

陳情者 (住所) 岩手県釜石市甲子町10-280-5-20

(氏名) 隊友会 釜石気仙地区支部 釜石分会

事務局長 小林英治



(住所) 岩手県釜石市唐丹町字小白浜 437 番地

(氏名) 自由民主党釜石市支部 支部長 木村琳藏

